

【学科別専門科目 授業内容】

地域デザイン学部

江戸川まちづくり学科（第15期生・1年次）

〔学科長〕

きたにかずえ
佐谷和江 まちづくりコンサルタント、(株)計画技術研究所代表取締役

【主な著書】「市民のためのまちづくりガイド」（共著）〔学芸出版社〕
「まちづくりの近未来」（共著）〔学芸出版社〕ほか

〔専任講師〕

たかばかずよ
竹迫和代 （ファシリテーター、参画はぐくみ工房代表）

【著書】「ラベルワークで進める参画型教育」（共著）〔ナカニシヤ出版〕

〔講師〕

- きのしたいさみ
・木下 勇 （千葉大学教授）
- おさだてるちか
・長田英史 （NPO法人れんげ舎代表理事）
- ・江戸川区都市開発部都市計画課長

〔専門科目の開講日・時間〕

金曜日：午後2時～4時 ※具体的な日程は「授業計画」のとおりです。

〔目的・概要〕

江戸川区をより暮らしやすいまちにするために、自分にできる取り組みについて考えていきます。

特に1年次は、①江戸川区を知る、②共に学ぶ仲間の良さを知る、ということを中心に授業を展開します。区内に出かけ、まちの魅力や文化を探る「えどがわの種探し」、いろいろなワークショップ手法（まちあるき、マップづくり等）の演習、学生によるまちづくりテーマの調査・発表等、楽しく実践的に学んでいきます。

〔授業計画〕 ※内容や実施日等は一部変更になる場合もあります。

実施回	日程	テーマ・概要・講師
第1回	2018年 10/19(金)	オリエンテーション(全2回) 1年間の授業の流れなどを説明します。また、学生さん同士が楽しく知り合える「関係づくりワークショップ」や「まちづくりの概要」の講義を行ないます。 [講師] <第1回> 佐谷和江(学科長)、竹迫和代(専任講師) <第2回> 佐谷和江(学科長)
第2回	10/26(金)	
第3回	11/ 2(金)	ボランティア・市民活動の現場訪問(全7回) 地元、江戸川区について勉強する時間です。学生の皆さんには地域に出てもらい、「まち歩き」や地域で活躍している方々を交えた意見交換等の取組みを通して、自分が市民活動のテーマとして取り組んでみたい「えどがわの魅力や課題(これらを“種”と呼ぶ)」を探っていきます。 ◆「えどがわの種」探しは、自身にもできる、まちづくりへの関わり方を発見したり、改めて考えたりする機会です。住民参加型のまちづくりをテーマに、その実践活動を行っている区内の活動団体を現地訪問し、その活動を見て、聞いて、習い、自分が取り組んでみたい江戸川区の歴史や課題について探ります。フィールドワークの後半は、毎回、ワークショップによる意見交換を行い、理解を深めます。 ※詳細は、後日配布する『江戸川まちづくり学科(第15期生)フィールドワーク(「えどがわの種」探し)実施要項』参照。
第4回	11/ 9(金)	
第5回	11/16(金)	
第6回	11/30(金)	
第7回	12/ 7(金)	
第8回	12/14(金)	
第9回	12/21(金)	
第10回	2019年 1/11(金)	行政が進めるまちづくりから学ぶ 江戸川区都市計画マスタープランについて [講師] 江戸川区都市開発部都市計画課長
第11回	1/18(金)	民主的な会議の進め方 フラットな関係性の仲間との会議を進めていく上で、大切にしたいポイントを学びます。 [講師] 長田英史(NPO法人れんげ舎代表)
第12回	1/25(金)	聴く・話す・まとめる」のスキルアップ①(全5回) ～コミュニケーションの基本を学ぶ～ 5コマの授業を使い、学生同士が互いの主張を認め合いながら学びあうために必要な考え方、具体的なスキルについて実践を通して学びます。 [講師] 竹迫和代(専任講師)
第13回	2/ 1(金)	聴く・話す・まとめる」のスキルアップ② ～グループワークの手法(ラベルワーク)を学ぶ～ [講師] 竹迫和代(専任講師)

実施回	日程	テーマ・概要・講師
第 14 回	2/ 8(金)	聴く・話す・まとめる」のスキルアップ③ ～グループワークの手法(ファシリテーショングラフィック)を学ぶ～ [講師] 竹迫和代 (専任講師)
第 15 回	2/15(金)	聴く・話す・まとめる」のスキルアップ④ ～まちあるきを学ぶ(篠崎編)～ 篠崎駅周辺を3～4つのグループにわかれ、まちあるきをしてみます。普段とは違う見方でまちを歩くことの面白さを体感してもらいます。 [講師] 竹迫和代 (専任講師)
第 16 回	2/22(金)	参加型まちづくり概論 [講師] 木下勇(千葉大学教授)
第 17 回	3/ 1(金)	聴く・話す・まとめる」のスキルアップ⑤ ～まちあるきマップづくり(篠崎編)～ 前回まちあるきして気づいたこと、発見したことを地図に整理する手法を学びます。 [講師] 竹迫和代 (専任講師)
第 18 回	3/15(金)	地域の魅力再発見 ・第 18 回・・・自分の住んでいる地域の自慢の資源を持ち寄り(写真、文献、記事等)、居住地域が近い人でグループ分けをします。 ・第 19 回・・・各自が持ち寄った地域資源をもとに、グループとしてひとつのPRプレゼンを作ります(表現手法としては、紙芝居、模造紙、パワポ等)。 ・第 20 回・・・前半はプレゼンにむけての作業をします。後半はプレゼン大会をします。 [講師] 竹迫和代 (専任講師)
第 19 回	3/22(金)	
第 20 回	3/29(金)	
第 21 回	4/ 5(金)	私の中の棚卸し 自分にできること、地域で暮らしていて「何とかしたい」と思う事、それらの“想い”を具体的な活動に起こしていくプロセスについて講義を聞きます。 [講師] 長田英史 (NPO 法人れんげ舎代表)
第 22 回	4/12(金)	「地域の課題」フィールドワーク 各自が気になっている、知りたいと感じているテーマを出し合い、個人(もしくは2名)で調べ発表する1年次のまとめ作業です。 ・第 22 回・・・各自が気になっているテーマを発表し共有します。 ・第 23 回・・・情報収集のやり方についての講義&個別相談 [講師] 佐谷和江 (学科長)、竹迫和代 (専任講師)
第 23 回	4/19(金)	

実施回	日程	テーマ・概要・講師
第 24 回	4/26(金)	「地域の課題」フィールドワーク 第 24～25 回の授業時間内で、発表内容をまとめたり発表の練習を行います。学生が相互にアドバイスしあいワイワイと楽しく準備作業をしていきます。 [講師] 竹迫和代（専任講師）
第 25 回	5/10(金)	
単位外	5/17(金)	大学祭にむけて 学びの成果を発表する大学祭への取り組みについて検討します。 (学生のみ)
第 26 回	5/24(金)	「地域の課題」発表会（全4回） 各自が自分の住む地域や江戸川区全体に対して「気になっていること、関心のあること」について独自に調べたことや考えたことを 15 分程度で発表・ディスカッションします。 [講師] 佐谷和江（学科長）、竹迫和代（専任講師）
第 27 回	5/31(金)	
第 28 回	6/ 7(金)	
第 29 回	6/14(金)	
第 30 回	6/21(金)	まとめ 1年間の振り返り 一年間の成果、反省点を共有するとともに、2年目の課題研究に向けて、自分なりのテーマを発見します。 [講師] 佐谷和江（学科長）、竹迫和代（専任講師）

〔1年目の獲得目標〕

① ビジョンが描ける	⇒	自分のやりたいことや役割を明確にする。
② 企画書が書ける	⇒	具体的な活動プランを構築する。
③ グループワークができる	⇒	自分の意見を表現でき、人の意見を聴ける力を身に付ける。
④ 会議を進行（運営）できる	⇒	リーダーシップというよりも、ファシリテーターとしての力量を身に付ける。
⑤ 記録が作れる	⇒	毎回の授業をニュースとして発行する。
⑥ インターネットが使える	⇒	情報収集能力と発信能力を身に付ける。
⑦ まちづくり活動家とネットワークを作る	⇒	最低3名くらいの活動家とネットワークを構築する。

〔2年目の学習概要〕

最終年度にあたることを意識し、卒業後の社会貢献活動の展開に結びつく「実践的な学び」を行います。特に、「社会貢献活動の企画力の向上」、「区と協働のまちづくり」、「組織づくりやネットワークづくり」に重点を置いたプログラムです。最終的には、卒業後の社会貢献活動につながる「卒業研究」を実施し、発表します。

〔その他〕

① パソコンを活用しよう！

江戸川まちづくり学科では、まちづくり活動人として、基本的な情報収集能力と発信能力を身に付けるため、通常の授業とは別に『パソコンサポートの会』等を利用しパソコンの活用を奨めています。

② 名刺をつくろう！

まちづくり活動を行ううえで、名刺は大切なツールです。江戸川まちづくり学科では、地域でのフィールドワークやヒアリング調査時等における身分証明、多くのまちづくり活動家とのネットワークづくりのために、学生個人の名刺を作ってもらいます。第1回目の授業で、名刺の用途やデザイン等について、あらためて説明します。